

事務事業名	出前懇談会事業	整理番号	51102-000
所 管	秘書課秘書スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成13年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 5-1 市民主体の行政運営 政 策 5-1-1 市民参画の促進	関連政策	

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	より一層市民と行政を一体化させるとともに、広く市民の声を市政に反映し、相互理解のもとに、元気で明るい御殿場市の建設を目指す。
対 象 (誰・何を)	行政区及び各種団体・グループ等
手 段 (どのようなやり方で)	行政区や各種団体等が主催する懇談会に市長が出席し、対話形式で意見や考えを交換する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	御殿場市の新たな半世紀に向け更なる飛躍・発展を遂げるべく、常に市民の目線に立ち、市民との協働によるまちづくりを推進する。
事務事業の背景・住民の意向	開始当初は開催する行政区・団体等も多かったが、その後、地区別対話集会（H15）や市長への手紙（H17）がスタートし、メール等の普及もあり、最近は開催件数が少なくなっている。
見直し改善の経過	平成16年度から秘書広報課（現在は秘書課）が事務担当をしている。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	1団体、20人が出席	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>10</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>10</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>10</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	10	135	17年度	10	135	18年度	10	130
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	10		135											
17年度	10	135												
18年度	10	130												
平成17年度	1行政区(竈)、1団体、計92人が出席													
平成18年度	2団体、53人が出席													

**評価指標**

年間延べ出席人数(人)	開催回数(回)	出席者1人当たりのコスト(千円)																														
<table border="1"> <caption>年間延べ出席人数(人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	出席人数	H16	20	H17	112	H18	53	H0目標	0	<table border="1"> <caption>開催回数(回)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開催回数	H16	1	H17	2	H18	2	H0目標	0	<table border="1"> <caption>出席者1人当たりのコスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト	H16	7.5	H17	1.5	H18	2.5	H0目標	0
年度	出席人数																															
H16	20																															
H17	112																															
H18	53																															
H0目標	0																															
年度	開催回数																															
H16	1																															
H17	2																															
H18	2																															
H0目標	0																															
年度	コスト																															
H16	7.5																															
H17	1.5																															
H18	2.5																															
H0目標	0																															

**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	「地区別対話集会」や「市長への手紙」の実施、インターネットの普及など、市民の声を聴く機会も増えてきている中、出前懇談会は開始当初に比べ開催希望が減少し、団体等も固定化の傾向にあるものの、広く市民が市長と接し懇談できる場があるので、他事業との統合も検討しながら、出前懇談会を広く周知し継続していきたい。	今後の方向性 <b>継続</b>
	有効性		
	効率性		
一次評価	<b>C</b>		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	<b>C</b>	他の広聴事業との一元化を検討されたい。	<b>継続</b>

**改革プラン**

平成19年度からの対応	地区別対話集会との整合を図るため、それぞれの実施方法・手段などを主管課と調整する。関係する団体・グループ等に対し出前懇談会のPR及び周知してもらうよう主管課へ依頼する。
平成20年度以降の対応	平成19年度と同様
改革により予想される成果	出前懇談会の開催を希望する行政区や団体等がいくらかでも増えれば、それだけ多くの市民の声を聴くことができ、市政に反映することができるとともに、市長の考え方や市政の概要について、広く市民に知ってもらうこともできる。